

杉並・大田清掃工場

一組総支部通信

一組総支部
事務局
一組本庁支部内
fax6238-0504
tel6238-0502
e-mail
seisou-ichkumi
@w7.dion.ne.jp
一組総支部
執行委員長
岩田正隆
副委員長
教宣担当
山下秀男
編集
教宣部長
福田雄一

何かと
役立つ
組合員の
ための事業

中央
労働金庫
全労済
東京都本部
セレモア
つくば
詳細は
支部役員へ



断固として、アウトレイシングは認めないぞ!

委託検査が済んでないぞ!

当局のアウトレイシング提案に断固反対する声明

九月二十日、当局は一組総支部に「平成十九年度清掃工場運営管理業務等委託の実施について」を提案した。名指された杉並工場・大田工場両支部はもろろに抗議するとともにアウトレイシングの撤回を求めるものである。

昨年引き続きこの提案は清掃工場のあり方を無視し、工場に働く組合員の仕事に対する意欲を喪失させ、工場の安全で安定的運営をも損なうものである。我々はますます将来の一組の工場運営を危うくし、重大事故すら引き起こしかねないものとなる指摘せざるをえない。

当局は「清掃一組の「経営計画」「経営改革プラン」に沿って、今後の工場運営を担う人員の確保と人材の育成を進める」と言っているがその一方で「人材育成と技術の継承を前提とする」としながらも、「委託業務

を拡大する内容でなければならぬ。」などといった理を述べ、これを「社会を騒がせた姉歯の耐震偽造事件、シンドライのエレベーター事故、ふじみ野市のプール事故を取り上げ、これらは民間委託という行為の中で安全よりも利益が優先された結果である。そして監督側にも請負側にも能力不足が見取れるのは既にノウハウが消滅したからだ。」と「アウトレイシング反対」の申し入れで当局を追求した。そして「このように清掃工場のアウトレイシングをこのまま続けければ、今まで蓄積されていた清掃工場運営のノウハウが全てなくなり、行政としてのチェック機能さえも失ってしまう。そして結局、一番大切な安全を犠牲にし、一組は信用を失う。」「今なら一組

結果、残灰車四台（約二十七）を積みピットに搬入すると言うような前代未聞の、主灰シュートブリッジが発生した。そして当局は委託が「原因ではない。」と主張しているが、「焼却炉、異常相次ぐ、内部温度が低下」と新聞報道された。高い金を掛けて委託する価値はあったのだろうか。

東京だけではなく、委託により如何に他都市で頻発しているのか。その危険を当局は感じないのか。

清掃工場にとってもっとも価値の高い安全性を、一組当局はまたしても杉並・大田で放り出そうとしている。

そして社会的信用についても大きな事故でもあれば、東京二十三区清掃一組は失う可能性すらある。信用失墜は我々にとっても致命傷となる。そんなことは一組に働くものとしてがまんできない。

平成18年9月20日
施設管理部管理課

平成19年度清掃工場運営管理業務等の委託の実施について

1 実施理由	世田谷清掃工場の新規稼働に伴う人員確保等のため、新たに2清掃工場において、運転係4係のうち3係の全業務と業務係又は技術係の一部業務の委託を実施する。
2 実施場所	大田清掃工場（第一・第二工場） 杉並清掃工場
3 実施日	平成19年4月1日（日）から
4 その他	平成18年度に運営管理業務等を委託した有明清掃工場及び練馬清掃工場、並びに今回運営管理業務等を委託する大田清掃工場、杉並清掃工場については、既に委託している整備係の一部業務を直営に戻す。 業務委託実施に伴う各清掃工場の直営職員の配置定数については、別途人員計画提案時に示す。 なお、平成18年度第4四半期に受託事業者への引継ぎ等の準備作業を実施する。

行動予定と取り組み

予定変更あり

- 9月1日 一組総支部常任執行委員会
- 7日 一組総支部執行委員会
- 14日 一組総支部執行委員会
- 20日 団体交渉
- 22日 一組総支部執行委員会
各支部参加の要請行動
- 27日 一組総支部常任執行委員会
一組総支部支部委員会

今後の課題

予算人員、組合帰属問題、配置定数、廃プラ焼却、新会社設立問題、定数等、委託検討委員会、特勤手当、互助活動、文庫部活動、週休日出勤について、各解明要求書作成、早期に総支部予算要求の確立を退職予定者把握

当局提案について反論表明



さらに「人材確保」についてであるが昨年度、多くの都派遣職員は都に戻った。これは一部事務組合にアウトレイシングに対する一組の先行き不安や、組織体制の不明瞭さと無関係ではない。

一組総支部は断固闘うこととし声明を發する。

東京清掃労働組合
一組総支部

スローガン

- 一、杉並・大田工場のアウトレイシング反対!
- 二、杉並・大田工場の運営管理業務3/4委託化・業務・技術係の一部委託を撤回せよ!
- 三、世田谷清掃工場の直営を堅持し、新設工場稼働に見合う人員を確保せよ!
- 四、設備管理職員は工場の主軸だ。当局は設備管理職員を採用せよ!
- 五、住民に信頼される工場を守れ!

当局提案説明



交渉の内容など裏面に。

平成十九年度清掃工場運
転管理業務等委託の実施に
ついて(提案)
実施日
平成十八年九月二十日(水)
十六時より
十四階入札室
一組側：内田総務部参事、
銀林総務部参事、尾崎総務
部参事小林施設管理部管理
課長、関本総務部副参事、
松本労務担当課長
組合側：金沢清掃労組副委
員長、額瀬清掃労組現業部
長、岡沢副委員長、細谷副
委員長、山崎副委員長、山
下副委員長、箱田書記長、
内山書記次長、山崎組織部
長、武藤貸金部長、
福田教宣部長、会場現業部
長、(記録、中里会計)

具体的には、施設管理部よ
り提案及び説明を行います
のでお聞き取りください。
私からは以上です。
当局側は、平成十九年度清掃工
場運転管理業務等委託の実
施について提案と説明を
行います。
《別添「平成十九年度清掃
工場運転管理業務委託の実
施について」により提案及
び提案説明》
これは、先程から申し上げ
ているとおり、清掃一組
の「経営計画」及び「経営
改革プラン」に沿って、今
後の工場運営を担う人員の
確保と人材の育成を進めつ
つ、清掃工場の安全で安定
的な換菓の確保を目指した
ものであります。
皆さんには引き続き厳し
い選択をお願いすることに
なりますが、一組が置かれ
ている厳しい状況をご理解
いただきご協力をお願いす
る次第です。
なお、皆さんのご理解を
頂くために、今後とも誠意
を持って協議してまいりま
す。

平成十八年一月に策定し
た清掃一組の「経営計画」
及び「経営改革プラン」に
基づき、平成十八年度から
練馬清掃工場及び有明清掃
工場の二工場で運転管理業
務等を委託してまいりまし
た。平成十九年度は「経営
改革プラン」の二年目とな
り、計画どおり新たに二清
掃工場において運転管理業
務等を委託してまいります。
平成十九年度は世田谷清
掃工場が稼働し、それに伴
う直営人員の確保が必要で
あり、計画どおり委託する
ことが絶対条件であります
ので、本提案をさせていた
だきます。

杉並 大田工場の委託反対 アウトソーシングの撤回! 特勤の廃止を阻止するぞ!! 新規採用を実施せよ!!

反対闘争を闘い抜きました。
最終的には、昨年十二月
九日、副管理者との団体交
渉で、「委託検証の労使の
検討の場設置」、「設備管
理職員の今後の補充」、「今
後の委託計画を固定化せず、
状況により見直しを含め可
変的であるのか」など3点
にわたる確認を求め「現在
の社会状況などを総合的に
考え、非常に不満であるが、
やむを得ない。」と判断し
ました。
しかし、その際「私たち
は安全な清掃工場の運営を
確保するには直営が最も
望ましい」という態度はい
ささかも変わりません」と申
し添えております。
そのことはいまだに不変
であると改めて強く主張し
ておきます。
八月三十日、一組総支部
として当局に射し二〇〇七
年度の予算要求を行いました
た。
その中で特にアウトソー
シングまでも推進させられ
る一組の現状について述べ
ました。そして、ベテラン
の事務職、技術職員が失望
感を持ち、一組から多くの
職員が都に戻ったこと、す
ぐれた技能をもっている設
備管理職員の大量退職と不
補充が続いていること、
また、今後の清掃工場運営
に関わる事務・技術・技能
の継承が危機的状況となっ
ている状況と、すでに昨年
度の練馬・有明両工場のア
ウトソーシングは事業運営
の質的低下をすでにもたら
していることなどからして
本年度についてはアウトソー
シングの提案をしないよう
強く申し入れました。
そして、委託下における
練馬・有明工場事業運営の
質的低下については、わず
か四分の一の直営係の方が
圧倒的な修理数や故障対応
をおこなっていること、委
託労働者の中に派遣などの
労働者が混在し、人の入れ
替わりも激しいため、満足
に工場運営に対処できてい
ないことが慮呈しているこ
となどを指摘し、「このま
ま放置すれば、清掃一組が
二十三区民から信頼を失う
ことになるばかりか、大事
故さえ発生しかねない恐れ
があります」と警告したと
ころです。
利潤を第一優先とする
という市場原理の中で、一番
大切な安全で、安定的な
工場の運営という公共性を
大きく損なうこととなりま
す。
すでにその予兆は明白に
なりつつあります。
しかるに、今回一組当局
は理不尽にも、我々のこれ
までの申し入れをむげにし、
昨年と同様、杉並清掃工場
と大田清掃工場を委託化す
る提案をおこないました。
今回の提案も昨年度「ア
ウトソーシングの進め方」
「経営計画及び経営改革プ
ラン」で計画された内容を、
何の総括、見直しをせず、
そのまま踏襲するという極
めて問題のあるものです。
このような住民に安全で、
安定的な工場運営の確保を
ますます困難にする、この
委託提案に対して断固反対
することを申しあげておき
ます。

工場は安全で、安定的な
運転を確保し、住民への信
頼に配慮するために今回の一
組のアウトソーシング、杉
並工場と大田工場について
の委託提案を撤回するよう
強く求めます。
組合側：当局は「人材育成

と技術の継承」を前提とし
ながらも、委託業務を拡大
する内容でなければならな
いといっています。全くと
現実を捉えていません。技
術の継承は委託業務の拡大
に伴って、技術的ノウハウ
は忘れさられ、その管理に
おいてさえ満足にできなく
なり、社会的問題まで波及
する恐れがあること、また
人材育成についても委託化
は職員の気持ちとは正反対
のものであることと言わざ
るをえません。
今年度、本格的な区移管
が完了し、都派遣職員は一
組の固有職員となりました。
しかし、新たな出発を迎え、

全職員が一丸となって、未
来の一組形成に向かうべき
ときに、このアウトソーシ
ングでは、各職員の骨を埋
めるべく、永年培った技術、
技能を最大限に活用し、一
組に貢献しようとする気持
ちを踏みにじるものです。
そして経験を積んできて
いる区派遣職員の流出も現
実のものとなるのは、容易
に想定できることです。
人材育成ではなく、人材
流出を招きかねません。
それどころか設備管理職
員の退職者不補充やアウト
ソーシングによる工場の委
託化、新会社設立は、これ
からの清掃一組の将来に限

りない不安や清掃事業にお
ける行政の放棄化、委託に
よる税金の無駄遣いの可能
性等に、組合員は限りない
怒りを覚えています。
一組当局は自治体とし
て、回りの状況に単に追従
するのではなく、主体的に
公務公共職場としての魅力
ある職場創りをする責務が
あります。従って、直ちに
今回の委託提案を撤回し、
一組当局は中間処理施設に
対する確固とした行政思索、
行政責任を果たすべきであ
ります。
これ以上の無謀な清掃工
場の委託化については、絶

対にやめるべきであります。
この問題に対し、全力を
あげて、一組当局の今回提
案の撤回と、考え方は正
を追求していくことを申し
上げておきます。
当局側：皆さん方のご意見
は何いました。私どもとし
ても今後、専門委員会等の
場で、私どもの考え等を十
分に説明させていただき、
理解と協力をお願いする所
存ですので、よろしくお願
いいたします。以上。
提案の白紙撤回にむけ、
一組総支部の団結で、
がんばろう。

一組総支部各専門部の取り組み

賃金部

特勤手当問題専門委員会メンバーについて

- ①岡沢副委員長・山下副委員長・箱田書記長・内山書記次長
武藤貸金部長・青木執行委員・細貝執行委員・中里会計(記録)
- ②各支部で早急に署名を取り組む

平成19年度予算人員要求各課交渉について

- ①賃金部員・書記局 重点要求を10月までにまとめる。
- (3) ①技能主任選考に対する総支部の取り組みについて
自己申告、異動調査、退職予定者の把握。

組織部

職員団体登録について

- ① 山崎組織部長・箱田書記長・内山書記次長
支部委員会等の規則について
次回の支部委員会確認予定。(各支部協議)

組織問題について(足立・光が丘)

- ② 足立(工)支部 支部常任委員訪問を予定。

④ 区派遣職員の組合費問題

- ① 本部へ提案する予定。
(本部限政部に経過措置を求める)
今年は「千分の7」で据置き。来年からは毎年「千分の2」を加算する。
3年後には全体と同額の「千分の13」にする。

現業部

廃プラスチック焼却問題(再解明要求) 回答について(再解明要求)の扱い
委託検証検証委員会問題の扱い 練馬工場のアウトソーシング問題について

教宣部

機関紙の発行 第5号 第6号 文化厚生、互助の活動計画の取り込み。

野球大会、親睦ボーリング大会など



くみこちゃん 福田ゆーいち



地震かいな。
今日まで
お世話に
なりました。
こんな時に
言わなく
ても、それより
かあさん
なんとかして
あげて

どうすればいいの
か。いかな。
わからな
いよ。
あたがた

普段から防災用品や
防災マップ、家族の連絡
体制を万全に。
事前に確認しましょうね。